

サイエンス・ダイアログ事業 実施報告書

1. 参加機関(学校名)・担当者: 学校法人静岡理工科大学 静岡北高等学校 高木 裕司
2. 参加研究者: Eniola FABUSORO 博士
3. 実施日時: 平成 22 年 10 月 25 日 (月) 13 :30 ~ 15 : 00
4. 参加生徒: 2 年生 38 人、 1 年生 1 人、 0 年生 0 人 (合計 39 人)
備考: 理数科 SSC(Super Science Course) の生徒
5. 講演題目: (英文) Culture, Institute and Development
(和文) 文化、制度、ならびに、開発
6. 講演概要:

「文化」とは世代ごとの流行や価値観、規範に影響するものである。「制度」とは私たちのあらゆる行動に影響し、社会全体を制御するものである。そして「開発」とは、「文化」と「制度」によってもたらされる変化であり、その変化こそが私たちの潜在的な可能性や生産性を引き出すのである。Eniola 先生は、出身国を離れて日本で学ぶことを決意したきっかけを交えながら、「開発」の重要性、さらには、生徒たちの可能性が無限大であることを語ってくださった。
7. 使用言語: 英語
8. 講演形式:
 - (1) 講演時間 60 分 質疑応答時間 30 分
 - (2) 講演方法
プロジェクター使用による講演
 - (3) 通訳
受入研究者によるサポート
- 協力者 職・氏名
東京大学博士課程在籍 Mon Myat THU
- (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
事前に送付していただいたスライドから重要語句を拾ったキーワードリスト
9. 支給経費: 交通費 宿泊費 謝金
10. その他特筆すべき事項: